

## 小中学校合同音楽発表会

11月8日、「第2回さつま町小中学校音楽発表会」が宮之城文化センターで行われました。

中学生の吹奏楽で始まった発表会は、昨年よりもさらに工夫を凝らした演奏が多く、訪れた保護者の皆さんも、楽しく聴き入っていました。

小規模校では、先生方も演奏に加わった全児童による演奏もあり、それぞれの学校の個性豊かな発表会となりました。

中学生の演奏を聴いた小学生は「すごいね」と感動していました。先輩が良き手本となる、小中合同の音楽発表会は大変有意義なものとなりました。



平川小学校全児童による元気いっぱいの演奏

## 観音滝絵画コンクール

指定管理者となった「観音滝温泉滝の宿」では、町への文化貢献のひとつとして、町内の小中学生を対象とした「第一回観音滝絵画コンクール」が行われました。

応募された230点の作品は、画家で世界児童絵画展に尽力されている黒瀬道則氏が審査委員長を務め審査されました。

さつま町長賞を受賞した中津川小学校の本村常徳くん（3年生）は、賞状と副賞のサッカーボールを手に大喜びでした。

黒瀬審査委員長は「子どもたちの絵は伸び伸びとしている。絵は子どもたちの心が表現される。来年また、さつま町の子どもの絵を観るのが楽しみです」と話されました。



賞状を手に喜ぶ本村常徳くん

## 久富木ぴんコロ村で「二宿二飯」農村体験

11月4日から5日にかけて、久富木ぴんコロ村「一宿一飯」が行われました。

これは、久富木区が都会の人に農家に泊まって田舎暮らしを体験してもらおうというグリーン・ツーリズムの取組で、企画したものです。

民泊には、鹿児島市や薩摩川内市から4組11人が参加されました。

久富木区の末永忍館長は「普段の田舎の暮らしをゆつくりと味わってください」と歓迎されました。

参加者は、ガネやしし鍋などの郷土料理や新米の野風呂炊き、竹コップづくり、そば打ち、竹林散策、ハヤ釣り、

いも掘りなどを体験されました。また、公民館での夕食交流会もあり、地元の方々と心ふれあう交流がなされました。



ガネやしし鍋などの郷土料理を体験する参加者



上平川川にフナを放流する園児たち

## 上平川川にフナを放流

11月13日、上宮保育園の園児と平川小学校の児童1・2年生が、透き通った上平川川にバケツいっぱいに入ったフナ40kgを放流しました。

これは、自然環境保護を目的に行われ、放流したフナは川内川漁業協同組合から提供されたものです。